

商 業

1 高等学校学習指導要領の改訂に向けて（中央教育審議会答申より）

(1) 改善の基本方針

将来のスペシャリストの育成という観点から専門分野の基礎的・基本的な知識、技術及び技能を身に付けるための教育とともに、職業人としての規範意識や倫理観等を醸成し豊かな人間性の涵養等にも配慮した教育を行うことが重要である。

また、産業構造の変化等の情勢の変化に対応し、それぞれの専門分野で真に必要とされる教育内容に精選するとともに、新たに求められる教育内容・方法を取り入れることが必要である。

さらに、職業教育の充実のためには、小・中学校段階におけるキャリア教育や進路指導との接続、専門高校生に産業社会や大学等が求める能力・資質との関連、次代を担う人材の育成などの観点から、関係各界・各機関等との連携強化なども重要な視点である。このような基本的な考え方の下、科目の構成及び内容の改善を図る。

【専門教育における課題】

- 経済のグローバル化や国際競争の激化、規制緩和等に伴う産業構造の変化、技術革新・国際化・情報化等に伴う産業社会の高度化、就業形態の多様化などに見られる就業構造の変化等により、我が国の産業社会や企業の専門高校に対する期待や、専門高校の生徒に求める資質・能力は変化してきている。また、専門高校の生徒の意識の変化や進路の多様化が進んでいる中で、「大学全入時代」の到来等も相まって、これまで以上に明確な目的意識をもった進路選択が促進されるよう、適切な対応が求められている。

(2) 改善の具体的事項

ア 教科横断的な事項

- (ア) 将来のスペシャリストの育成に必要な専門性の基礎・基本を一層重視し、専門分野に関する基礎的・基本的な知識、技術及び技能の定着を図るとともに、ものづくりなどの体験的学習を通し実践力を育成する。

さらに、資格取得や各種検定への挑戦等、目標をもった意欲的な学習を通して、知識、技術及び技能の定着、実践力の深化を図るとともに、課題を探究し解決する力、自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、学ぶ意欲、働く意欲、チャレンジ精神などの積極性・創造性等を育成する。

- (イ) 将来の地域産業を担う人材の育成という観点から、地域産業や地域社会との連携・交流を通じた実践的教育等を充実させ、実践力、コミュニケーション能力、社会への適応能力等の育成を図るとともに、地域産業や地域社会への理解と貢献の意識を深めさせる。

- (ウ) 人間性豊かな職業人の育成という観点から、人と接し、自然やものとかかわり、命を守り育てるといった職業教育の特長を生かし、職業人として必要な人間性を養うとともに、生命・自然・ものを大切に作る心、規範意識、倫理観等を育成する。

- (エ) (ア)～(ウ)を踏まえた改善に当たり、産業構造の変化、技術の進捗等に柔軟に対応できる人材の育成のため、専門分野に関する基礎的・基本的な知識、技術等の定着を特に重視するとともに、就業体験等、実社会や職業とのかかわりを通じて、高い職業意識・職業観と規範意識、コミュニケーション能力等に根ざした実践力を高めることを一層重視した教育活動を充実すべきである。
- (オ) また、生徒の意識の変化や進路の多様化等に対応するため、弾力的な教育課程を編成することに加えて、より実践的な職業教育や就業体験等を通じて、職業選択能力や人生設計能力を身に付けさせる教育が可能となるよう配慮することも必要である。

イ 各教科・科目に関する事項

経済のサービス化・グローバル化、ICTの急速な進展、知識基盤社会の到来に対応し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う実践力、遵法精神や起業家精神等を身に付けた創造性豊かな人材を育成する観点から、科目の新設を含めた再構成、内容の見直しなど次のような改善を図る。

- (ア) 教科の目標については、生徒の進路の多様化に対応する観点から、商業の各分野で学習する内容と関連する職業とのつながりに着目し、将来の職業を見通し学び続ける力を育成するという趣旨を明確にする。
- (イ) 科目構成については、上記の改善の視点に立ち、現行の17科目を次の20科目とする。

ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス・コミュニケーション、マーケティング、商品開発、広告と販売促進、ビジネス経済Ⅰ、経済活動と法、ビジネス経済Ⅱ、簿記、財務会計Ⅰ、原価計算、財務会計Ⅱ、管理会計、情報処理、ビジネス情報、電子商取引、プログラミング、ビジネス情報管理（_____ は、新設科目である）

- (ウ) 新設する科目については、以下の4科目とする。
- ・「商品開発」
顧客満足の見点に立った商品開発の流れについて体験的に理解させ、新商品を企画、開発、提案する能力と態度を育てることをねらいとする。
 - ・「ビジネス経済Ⅰ」
経済理論としてミクロ・マクロ経済学の基礎的な知識を習得させ、サービス経済社会に主体的に対応する能力と態度を育てることをねらいとする。
 - ・「管理会計」
経営管理に必要な情報を活用して意思決定する知識と技術を習得させ、ビジネスの諸問題を探究する能力と態度を育てることをねらいとする。
 - ・「ビジネス情報管理」
ビジネス情報システム開発に関する知識と技術を習得させ、コンピュータシステムを適切に導入、管理する能力と態度を育てることをねらいとする。
- (エ) (ウ)のほか、以下のとおり、科目を再構成する。
- ・オフィスにおけるコミュニケーションや外国人とのコミュニケーションに関する知

- 識と技術に重点を置くため、「英語実務」と「商業技術」を整理統合し、「ビジネス・コミュニケーション」とする。
- ・「商品と流通」及び「マーケティング」の内容を分類整理し、主として市場調査や商品の流通等を系統的に学習する内容を「マーケティング」にまとめるとともに、広告や商品の販売促進等に関する基礎的・基本的な知識と技術に重点を置く「広告と販売促進」とする。
- ・サービス経済に関する基礎的・基本的な知識と技術に重点を置くため、「国際ビジネス」の名称を変更し、「ビジネス経済Ⅱ」とする。
- ・財務会計に関する基礎的・基本的な知識と技術に重点を置くため、「会計」の名称を変更し、「財務会計Ⅰ」とする。
- ・財務会計に関する法規や基準の変更に迅速に対応する能力に重点を置くため、「会計実務」の名称を変更し、「財務会計Ⅱ」とする。
- ・情報通信ネットワーク等を活用した電子商取引や、ICT技術を活用した広報に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けるため、「文書デザイン」の内容を再構成し、「電子商取引」とする。
- ・「ビジネス経済Ⅱ」は「ビジネス経済Ⅰ」を履修した後に、「財務会計Ⅱ」は「財務会計Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とする。

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～問題解決学習における指導と評価の一体化～

(1) 科目「課題研究」における評価方法の工夫・改善

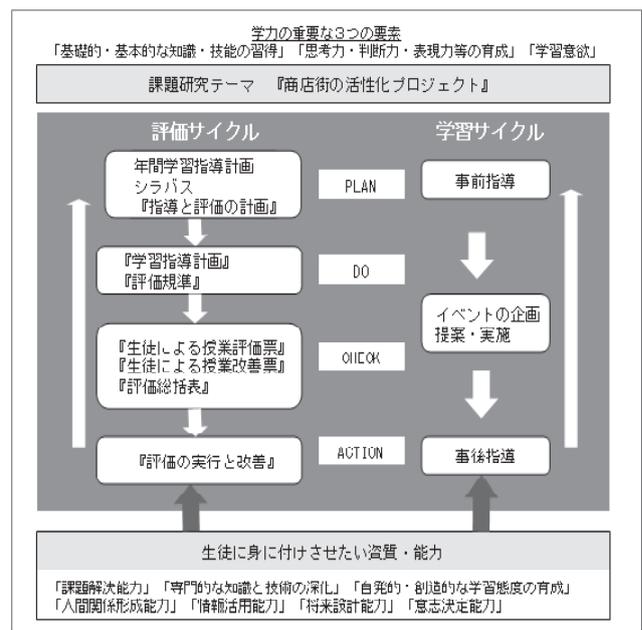
科目「課題研究」の目標は、商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てることである。

「課題研究」を効果的に展開するためには、学習活動の過程における評価の工夫・改善を図り、学習の評価が、日常の指導の中で、生徒の学習改善に生かされることが重要である。評価の結果によって指導を改善させ指導に生かす評価の充実を図り、指導と評価の一体化を進めることが必要である。

本手引きでは、「課題研究」における具体的な評価方法の例を示し紹介する。

なお、学習サイクルは、平成19年度「高等学校教育課程編成・実施の手引」に掲載している。

図 「学習と評価のPDCAサイクル」



ア 指導と評価の計画

科目名・テーマ	「 課 題 研 究 」 《商店街の活性化プロジェクト》
内容	調査、研究、実験、作品制作、産業界等における実習
目標	商業に関する基礎的・基本的な学習の上に立って、自ら考え、主体的に判断し、課題を解決する学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、課題の解決を図る学習を通して得た成果を発表し、討論する力を養う。
身に付けさせたい資質	人間関係形成能力 情報活用能力 将来設計能力 意思決定能力
活動の概要	商店街の既存のイベントの活性化を図るため、広告宣伝グループ、デザイングループなどに分かれ、相互に協力をしながら商店街の活性化のためにイベントを企画・提案・実施する。また、イベント実施後、来場者等へのアンケート調査を行い、顧客満足度等の考察を行う。

時	学習項目	学習のねらい	学習活動	評価規準	評価方法	観点
8	事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーの重要性を理解させる。 ・地域を理解し、イベントの成功のために、自ら考え行動することの重要性を認識させる。 ・自己を理解させ、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 	全体指導 <ul style="list-style-type: none"> ・接客、電話対応 ・あいさつ、言葉遣い ・立ち居振る舞い ・商店街への依頼状の書き方 ・名刺の作成と交換方法 ・地域の課題を探る ・志望理由書、自己理解票の作成 ・地域の方を招き講演会の実施 ・地域の課題のまとめと解決方法の考察 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化について関心を持ち、イベントの企画・提案・実施に意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート 	A
				<ul style="list-style-type: none"> ・自己の考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書 ・面接 	C
				<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーやビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・自己理解票 	D
32	イベントの企画・提案・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの意義を理解し、自ら考え、グループで協力し適切な広告等の作品制作ができるようにする。 ・リハーサルの様子をビデオカメラで撮影し、プレゼンテーションの改善を図る。 ・イベントの意義を理解し、自ら考えグループで協力して適切なキャラクター等が作成できるように指導する。 ・イベントの集客の方法について考察させる。 ・働くことの意義を捉え誠意を持った販売活動にあたらせる。 	組織体制（グループ学習） <ul style="list-style-type: none"> <広告宣伝グループ> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街へのプレゼンテーション ・チラシ、ポスターの作成 ・Webページの作成 ・CMの作成 <デザイングループ> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクター、キャッチフレーズの作成 ・包装紙、デザイン袋の作成 <企画・調査グループ> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント費用の計算 ・イベントのコンセプト企画 ・地域のPR活動 <販売グループ> <ul style="list-style-type: none"> ・当日のシフト表の作成、接客、販売活動 ・金銭の管理、経理処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画・提案・実施に意欲的に取り組むとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート 	A
				<ul style="list-style-type: none"> ・イベントのコンセプトを踏まえ、様々な角度から考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・プレゼンテーション計画表 ・評価票 	B
				<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの内容を理解し、コンピュータを活用し的確にまとめ、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート 	C
10	事後指導	<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導で記入した自己理解票に改めて記入して自己の変容を再度確認させる。 ・自分の行動を振り返り、成果や問題点を把握させ改善点を理解させる。 	全体指導 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街への礼状の作成 ・イベント企画のまとめ ・イベント実施報告会の実施と報告書の作成 ・討論会の実施 ・自己の変容について考察（自己評価票、相互評価票、自己理解票の記入） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施についての反省、感想を意欲的にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート 	A
				<ul style="list-style-type: none"> ・自己の変容について様々な角度から考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	B
				<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を的確にまとめ、実施した結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画報告会のプレゼンテーション 	C
				<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解票 ・礼状 	D

※観点別評価 A=関心・意欲・態度 B=思考・判断 C=技能・表現 D=知識・理解

イ 学習指導案

科目名・テーマ	「課題研究」《商店街の活性化プロジェクト》			
学習内容	事前指導 『地域の課題を知ろう』			(5時間/8時間)
本時の指導目標及び評価の観点と内容	・イベント企画での自分の役割を考えてみよう ・参加グループ志望理由書作成と面談	【技能・表現】志望理由について、自己の考え方をまとめ、的確に表現している		
段階	学習内容	生徒の活動	教師の活動	指導上の留意点
導入	○本時の実施内容について確認 (10分)	○参加グループ志望理由書を受け取り記入方法及び面接の確認	○志望理由書の記入	○面接に臨む姿勢を確認する。
展開	○参加グループ志望理由書の記入と質疑応答 (20分) ○志望理由書の確認と各グループ人数の発表 (10分)	○各生徒は、志望するグループ名を記入するとともに、身だしなみのチェックを行う。記入時間は、10分間程度とする。 ○グループの業務内容について、必要に応じて質問する。 ○志望理由書の修正及び加筆を行う。 ○志望理由書の完成と自己アピール文を考えさせる。	○各生徒に、グループ内の仕事について説明する。 ○質問を受けるとともに、各グループの評価方法を説明する。 ○志望理由書を確認し修正させるとともに、各グループの人数を発表する。 ○グループ内人数の過不足を伝え、生徒に考えさせる。	○他の生徒が、業務内容を理解しているか、確認する。 ○質問や応答への補足を行う。 ○志望理由書について、アドバイスを行う。
整理	○面接方法の発表 ○次時の予告 (10分)	○面接方法の説明を受け、次回までに準備内容を確認する。	○面接実施要領の観点を伝える。	

ウ 評価規準

テーマ「商店街の活性化プロジェクト」

学習項目	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
事前指導	・商店街の活性化について関心を持ち、イベントの企画・提案・実施に意欲的に取り組んでいる。		・自己の考えを的確に表現している。	・ビジネスマナーやビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
イベントの企画・提案・実施	・イベントの企画・提案・実施に意欲的に取り組むとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けようとする。	・イベントのコンセプトを踏まえ、様々な角度から考察している。	・イベントの内容を理解し、コンピュータを活用して的確にまとめ、適切に表現している。	
事後指導	・イベント実施について、反省、感想を意欲的にまとめようとしている。	・自己の変容について様々な角度から考察している。	・活動内容を的確にまとめ、実施した結果を適切に表現している。	・ビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

エ 評価のための判断基準例

【事前指導】の例

学習項目	評価方法	評価「A」	評価「B」	評価「C」
関心・意欲・態度	行動観察 ワークシート	商店街の活性化について関心を持ち、イベントの企画・提案・実施に意欲的に取り組んでいる。	商店街の活性化について関心を持ち、イベントの企画・提案・実施に取り組んでいる。	商店街の活性化について関心が薄く、イベントの企画・提案・実施に、意欲を示さない。
思考・判断	評価なし			
技能・表現	志望理由書 面接	志望理由について自己の考えをまとめ、的確に表現している。	志望理由について自己の考えを概ねまとめ、伝えたいことを表現している。	志望理由について主体的に考えず、伝えたいことを表現していない。
知識・理解	ワークシート 自己理解票	ビジネスマナーやビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ビジネスマナーやビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を理解している。	ビジネスマナーやビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を理解していない。

オ 評価総括表

課題研究テーマ 「商店街の活性化プロジェクト」 評価総括表

項目 番号	事前指導			イベントの企画・提案・実施 (※企画・調査グループ用)			事後指導				集計			
	関心・意欲・態度	技能・表現	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
氏名	行動観察ワークシート	志望理由書面接	自己理解票ワークシート	プレゼンテーション大会	企画書外部交渉	プレゼンテーション大会	行動観察ワークシート	行動観察自己理解票	イベント企画報告会	礼状ビジネスカード				
1														
2														
3														
4														
5														

36														
37														
38														
39														
40														
Aの人数														
Bの人数														
Cの人数														
合計														
Aの割合														
Bの割合														
Cの割合														
合計														

カ 生徒による授業評価票

月	日	氏名	※氏名は記入しなくてもよい		
問1 今日の授業の感想や疑問点を裏面に自由に記述してください。					
【 A 十分満足できると判断される B おおむね満足できると判断される C 努力を要する 】					
問2 今日の授業のあなたの取組について伺います。 下の項目のそれぞれについて評価し、A・B・Cいずれかの欄に○を記してください。					
			A	B	C
①	取り組む姿勢はどうか。	[]	[]	[]	[]
②	始業時間に遅れず、規律正しく授業を受けられましたか。	[]	[]	[]	[]
③	進捗状況はどうか。	[]	[]	[]	[]
④	学習環境の活用状況はどうか。 ※学習環境：パソコンやビデオ・問題集、先生への質問等	[]	[]	[]	[]
⑤	授業準備において、本時の予定を十分確認しましたか。	[]	[]	[]	[]
⑥	グループでの取組において、役割分担が明確でしたか。	[]	[]	[]	[]
⑦	グループでの取組において、相手の意見をしっかりと聞くことができましたか。	[]	[]	[]	[]
⑧	グループでの取組において、自分の意見を明確に伝えることができましたか。	[]	[]	[]	[]
⑨	グループ討議では、協調性を持って取り組むことができましたか。	[]	[]	[]	[]
⑩	本時に向けて、授業時間外の準備時間はありましたか。	[]	[]	[]	[]
⑪	本時のまとめは、授業時間内にしっかりできましたか。	[]	[]	[]	[]
⑫	次時の授業の見通しはできましたか。	[]	[]	[]	[]
⑬	本時の中で、働くことの意義について、考えた場面がありましたか。	[]	[]	[]	[]
⑭	本時の中で、課題が明確になり、その解決のための手立はとれましたか。	[]	[]	[]	[]
問3 下の項目のそれぞれについて評価してください。 【 A 十分満足できると判断される B おおむね満足できると判断される C 努力を要する 】					
			A	B	C
①	先生はわかりやすい言葉で説明していますか。	[]	[]	[]	[]
②	考えたり書いたりする時間は十分でしたか。	[]	[]	[]	[]
③	ワークシート等の教材・教具は十分でしたか。	[]	[]	[]	[]
④	授業のまとめが学習の振り返りと、次時の学習の見通しにつながっていましたか。	[]	[]	[]	[]
⑤	先生は生徒の考える時間を大事にしていましたか。	[]	[]	[]	[]
⑥	自分の考えや意見を出しやすい授業でしたか。	[]	[]	[]	[]
⑦	先生は学習規律を守らせていましたか。	[]	[]	[]	[]
⑧	先生は生徒を適確に評価していると思いますか。	[]	[]	[]	[]
⑨	先生の熱意は感じましたか。	[]	[]	[]	[]

キ 授業改善票

月 日 ()	氏 名	※氏名は記入しなくてもよい																																								
<p>問1 授業改善に関して伺います。下の項目のそれぞれについて評価してください。</p> <p style="text-align: center;">【 A 十分満足できると判断される B おおむね満足できると判断される C 努力を要する 】</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;"></th> <th style="width:10%; text-align: center;">A</th> <th style="width:10%; text-align: center;">B</th> <th style="width:10%; text-align: center;">C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 授業評価票に記入することで、授業の改善が図られたと思いますか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>② 当初予定していた方向に進んでいますか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>③ 全体の進捗状況は順調ですか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>④ 当初の考え方から現在は向上が図られましたか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>⑤ 話し合いの重要性を感じますか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>⑥ 準備は十分にできましたか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>⑦ 課題が明確になりましたか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>⑧ 次への見通しはできていますか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td>⑨ これまでの課題を解決することができますか。</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> </tbody> </table> <p>問2 これまでの取組の感想や課題を裏面に自由に記述してください。</p>				A	B	C	① 授業評価票に記入することで、授業の改善が図られたと思いますか。	[]	[]	[]	② 当初予定していた方向に進んでいますか。	[]	[]	[]	③ 全体の進捗状況は順調ですか。	[]	[]	[]	④ 当初の考え方から現在は向上が図られましたか。	[]	[]	[]	⑤ 話し合いの重要性を感じますか。	[]	[]	[]	⑥ 準備は十分にできましたか。	[]	[]	[]	⑦ 課題が明確になりましたか。	[]	[]	[]	⑧ 次への見通しはできていますか。	[]	[]	[]	⑨ これまでの課題を解決することができますか。	[]	[]	[]
	A	B	C																																							
① 授業評価票に記入することで、授業の改善が図られたと思いますか。	[]	[]	[]																																							
② 当初予定していた方向に進んでいますか。	[]	[]	[]																																							
③ 全体の進捗状況は順調ですか。	[]	[]	[]																																							
④ 当初の考え方から現在は向上が図られましたか。	[]	[]	[]																																							
⑤ 話し合いの重要性を感じますか。	[]	[]	[]																																							
⑥ 準備は十分にできましたか。	[]	[]	[]																																							
⑦ 課題が明確になりましたか。	[]	[]	[]																																							
⑧ 次への見通しはできていますか。	[]	[]	[]																																							
⑨ これまでの課題を解決することができますか。	[]	[]	[]																																							

ク 評価報告書

評価報告書

北海道〇〇商業高等学校

学習項目	評価規準	評価の状況	学習項目における各観点ごとの考察・備考	学習項目全体の考察・備考	生徒による授業評価票と授業改善票のまとめ											
事前指導	(関心・意欲・態度) 商店街の活性化について関心を持ち、イベントの企画・提案・実施に意欲的に取り組む。	A () 人 () %	本単元での各観点について、生徒の取組状況や、顕著な事項等について記述する。													
		B () 人 () %														
		C () 人 () %														
	(思考・判断)	A () 人 () %				本単元における、生徒全体の取り組み状況や顕著な事項を記述するとともに、次年度への課題等があれば記入する。										
		B () 人 () %														
		C () 人 () %														
	(技能・表現) 自己の考えを適確に表現している。	A () 人 () %							評価総括表から、人数・%を記入する。			生徒による授業評価票をまとめ、授業の改善に向けて、顕著な事項等について記述する。				
		B () 人 () %														
		C () 人 () %														
	(知識・理解) ビジネスマナーやビジネス文書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	A () 人 () %											評価総括表から、人数・%を記入する。			生徒による授業評価票をまとめ、授業の改善に向けて、顕著な事項等について記述する。
		B () 人 () %														
		C () 人 () %														

Topic

エネルギー・環境問題とビジネス

地球的規模のエネルギー・環境問題は、資源の乏しい我が国にとって重要な問題となっています。ビジネスにおいても、この問題に積極的に取り組むことが求められています。

本年1月の中央教育審議会答申では、「各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間それぞれの特質等に応じ、環境に関する学習が行われるようにする必要がある。」と示されています。

教科「商業」では、科目「ビジネス基礎」や「国際ビジネス」の中で、エネルギー・環境問題への対応など新たなビジネスの課題について触れ、ビジネスの創造の重要性について理解させることが求められています。また、それらの学習を基礎として、科目「課題研究」では、調査、研究、実験などの体験的学習を通して、企業の社会的責任の観点からエネルギー・環境問題に対する学習を深化させ、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることが期待されています。

■取組例（3年時）

科 目	課題研究	内 容	調査、実験、研究
身に付けさせたい資質	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見し解決する能力 ・ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力 ・情報を適切に収集、処理し活用する能力 		
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業と連携し、エネルギー・環境問題に対してどのように取り組んでいるかを調査する。 ・ISO14001取得に向けたシミュレーションを行い、モデル例を作成する。 ・環境保護ニーズに対応した新しいビジネスモデルを企画する。 		
主な活動内容		指導上の留意点及び取扱い等	
1 地域企業の調査（8時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・環境問題に関する資料収集と分析 ・企業の取組に関するヒアリング ・調査結果の分析とレポートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問法による調査は、調査対象者の理解が得られるよう、質問内容に十分配慮するよう指導する。 ・調査結果の分析では、地理歴史科、公民科、家庭科等で学習した内容を総合的に活用して分析するよう指導する。 	
2 ISO14001取得に向けたシミュレーション（12時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・取得した企業の取組に関する調査 ・紙を題材とした再利用、再使用、省資源化モデルの調査 ・表計算ソフトウェアによるシミュレーション ・シミュレーションの分析とレポートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・取得した企業の取組を参考に、地域に即したシミュレーションの題材を決定するよう指導する。 ・シミュレーションでは、表計算ソフトウェアを用いてモデルを計数的に評価させる。 ・レポートの作成では、分析結果をグラフ化するなど見やすいものとなるよう指導する。 	
3 ビジネスモデルの企画（15時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・企画の目的及び対象の明確化 ・環境重視、環境保護ニーズに対応した新しいビジネスモデルの企画 ・企画書およびプレゼンテーション資料の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の環境に対する取組の姿勢が、競争力や株価にも反映されることを理解させる。 ・シミュレーションの結果を踏まえ、多角的な視点でアイデアを出し合うようグループディスカッションの時間を設定する。 	
4 プレゼンテーションの実施（10時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションのリハーサル ・プレゼンテーションの実施（課題研究成果報告会） ・改善とまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハーサルの様子をビデオで撮影し、プレゼンテーションの改善を図るよう指導する。 ・プレゼンテーションの実施では、ワークシート等を活用して自己評価、相互評価を行わせる。 ・プレゼンテーション後に、企画の成果や問題点を把握し、改善すべき点を考察するよう指導する。 	